

校長だより

5月号



長いGWが終わり学習モードへ

五月の長い長い10連休が終わり、子どもたちにとつていろいろ楽しい思い出ができたことでしょう。連休明けの登校時の子どもたちの様子を見ると、まだ眠そうな子や、学校が待ち遠しかったかのような元気はつらつの子、嬉しそうに少し生長したヘチマの苗を抱えている子など、いろいろな表情が見られました。大型連休の思い出については各学級で、友達という話をしている様子です。

学校長として、この大型連休中、大きな事故もなく子どもたちが元気に登校してくれたことがとても嬉しいです。

五月に入り、学習もいよいよ軌道に乗ってきます。学習モードへの切り替えも大切になります。

本校では、次のことを学習スタイルとして授業に取り組みます。一部ですが紹介します。

○授業開始・終了時刻の徹底

○めあてとまとめ振り返りのある授業

○板書・ノート・ICT機器（電子黒板等）の工夫

これらのことを意識した授業づくりを行っていきます。今月は日曜授業参観もありますので、多くの保護者の皆様が参観いただきますようよろしくお願いいたします。

一年生の給食がスタート

四月九日(火)に入学した一年生ですが、少しずつ学校に生活にも慣れてきました。四月二十二日(月)からは、楽しみにしていた給食がスタートしました。今年から、こども園や幼稚園で培った力を「繋ぐ」ことを意識して取り組んでいきます。その一面が給食準備時間にも見られました。これまでは、六年生が一年生の応援として、給食の配膳を最後まで行っていたのですが、こども園の先生方給食の配膳については、年長さんが行うことができていると全職員で情報共有をしました。その力を小学校でも引き継ぎ、伸ばしていきたいと考えております。

今後、こ小連携を充実して、幼児期の最後までに育った力を、繋いで子どもたちの生きる力を育てていきたいと考えております。



読み聞かせボランティア「スイミー」の活動

毎週火曜日の8:20~8:35に子どもたちへの読み聞かせが行われております。4月25日(金)の音読朝会では、大きなペープサートを使っての読み聞かせを行いました。この読み聞かせボランティア活動が10年以上続いているということで、子どもたちが本に親しむきっかけを作っていただいております。引き続きよろしく願いいたします。

